

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
伊那市開催基本方針

1 基本方針

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）の開催により、スポーツを身近なものとし市民のスポーツへの関心をより一層高め、生涯を通じて気軽にスポーツを親しめる環境づくりや市民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することなど、スポーツを通じた健康・福祉のまちづくりを推進する大会とします。

また、単にスポーツの祭典にとどめることなく、伊那市のスポーツ振興を図る絶好の機会と捉え、市民一人ひとりが、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で大会に参画することや伊那市の魅力を発信することにより、伊那市の掲げるブランドスローガン「森といきる 伊那市」を広く浸透し、スポーツ文化の発展や地域の活性化につなげる大会を目指します。

2 実施目標

(1) 市民とともに創りあげる大会

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功に向け、市民、行政、関係機関・団体、企業など、伊那市に関係するすべてが一丸となって大会を盛り上げていくとともに、喜びと感動を分かち合い、地域の活力を創り出す大会を目指します。

(2) 伊那市の魅力を発信する大会

全国から訪れる多くの方々を心のこもった“おもてなし”でお迎えし、伊那市の豊かな自然や歴史、景観、文化、食などの魅力を発信することにより、伊那市をまた訪れたいと思っていただける大会を目指します。

(3) 生涯スポーツの推進につながる大会

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、スポーツが持つ意義や効果の浸透を図り、だれもが「いつでも・どこでも・いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境づくりにつながる大会を目指します。

(4) 競技スポーツの振興につながる大会

トップレベルの選手のプレーに触れ、競技スポーツの関心を高めることにより、競技人口の増加、競技力の向上を図るとともに、指導者や次世代の育成など、将来にわたる競技スポーツの振興につながる大会を目指します。

(5) スポーツに関わるすべての人を応援する大会

競技を「する」選手、競技を「みる」観客、大会を「ささえる」関係者が様々な関わりを持ち、お互いの活動に接することにより、すべての参加者が「つながり」や絆を感じられる大会を目指します。